

4 道路網計画の目標

調布市を取り巻く状況（P 5），上位関連計画の目標及び市民ニーズ（P 11）を踏まえ，道路網計画の目標を設定しました。

快適
便利
安全

快適、便利、そして安全な移動空間の確保

調布市は、本格的な超高齢社会を迎える一方で、子育て世帯が多く居住する地域です。しかし、駅周辺や交差点付近では、歩行者や自転車の事故が多く起こっている状況にあり、安全な移動空間の確保が必要です。これにより、高齢者は外出しやすくなり、健康な暮らしにつながるとともに子育て世帯は安心して子どもを育てられるようになります。そこで、誰もが快適、便利、安全に移動することができるみちづくりを進めていきます。

防災
減災

防災・減災機能の強化

首都直下地震が30年以内に約70%という高い確率で発生すると予測され、調布市においても、震度6以上が想定されており、調布市基本計画の重点プロジェクトにおいて、災害に強いまちづくりを掲げています。そこで、防災・減災機能を強化したみちづくりを進めていきます。

活性化

商業・文化・にぎわいが織りなすまちの形成

調布市では、京王線連続立体交差事業により京王線の地下化が実現したことで、鉄道で分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で都市構造が大きな変貌を遂げました。そこで、中心市街地を活性化するとともに、観光拠点の魅力の向上と積極的な活用により、にぎわいのあるまちづくりに寄与するみちづくりを進めていきます。

環境・
住環境

低炭素なまち、生活環境に配慮した住みやすいまちの形成

調布市では、平成22年に調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、温室効果ガスの総排出量の削減を目指し、地球温暖化対策に取り組んでいます。しかし、今後、何も対策を講じないと、温室効果ガスの排出量は増加することが想定されます。そこで、低炭素で生活環境や沿道環境に配慮した住みやすいまちを形成するみちづくりを進めていきます。

効率性

効率的かつ効果的なみちづくりの推進

限られた経営資源を効率的・効果的に活用し、市民ニーズ等を踏まえた道路網を構築するためには、道路に期待される多様な役割を踏まえて、効率的かつ効果的にみちづくりを進めていく必要があります。そこで、目指すべき道路網を実現化するために、路線の必要性や優先度を定期的に確認することや路線に整備の優先度等を定めることで、効率的かつ効果的なみちづくりを進めていきます。

上位関連計画の目標

上位関連計画の目標や方針から、「安全・安心」「福祉・子育て」「快適・便利」「環境」「活力」の、5つのキーワードを考慮しました。

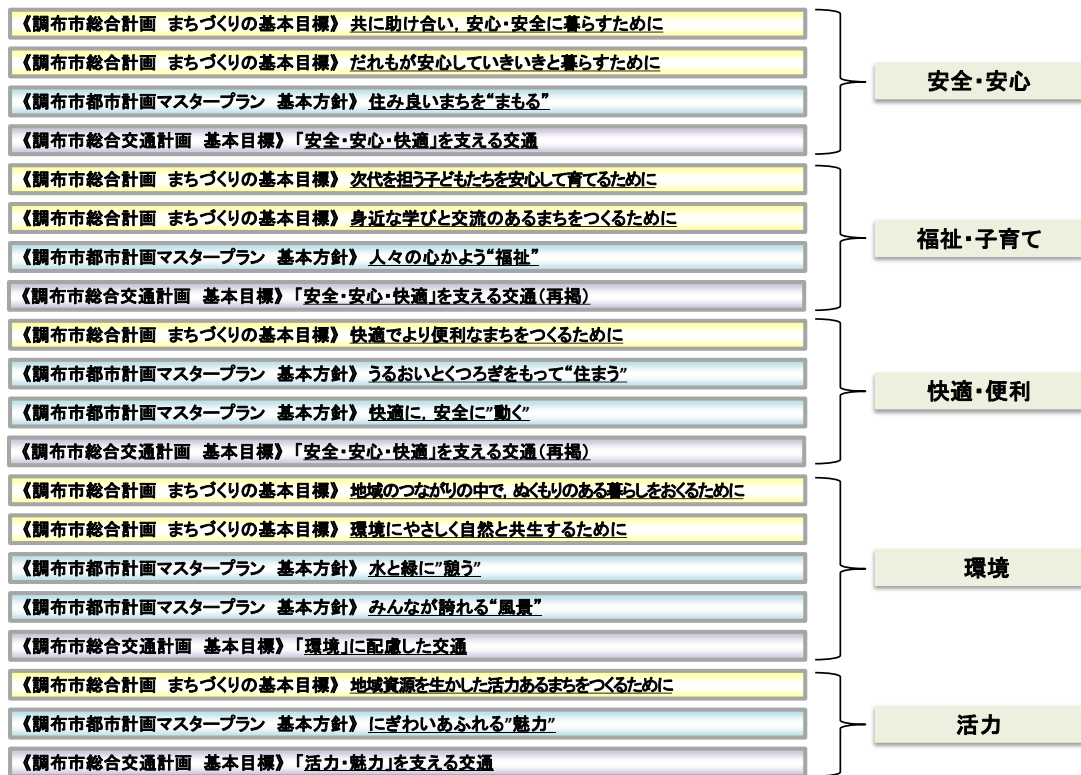


図 上位関連計画の目標の整理

市民ニーズ

みちの井戸端会議、道路に関するアンケートから、市民のニーズを把握し、安全性、定時性、アクセス性、代替性、防災性、住環境、まちなにぎわい、整備実現性の8つの項目を考慮しました。

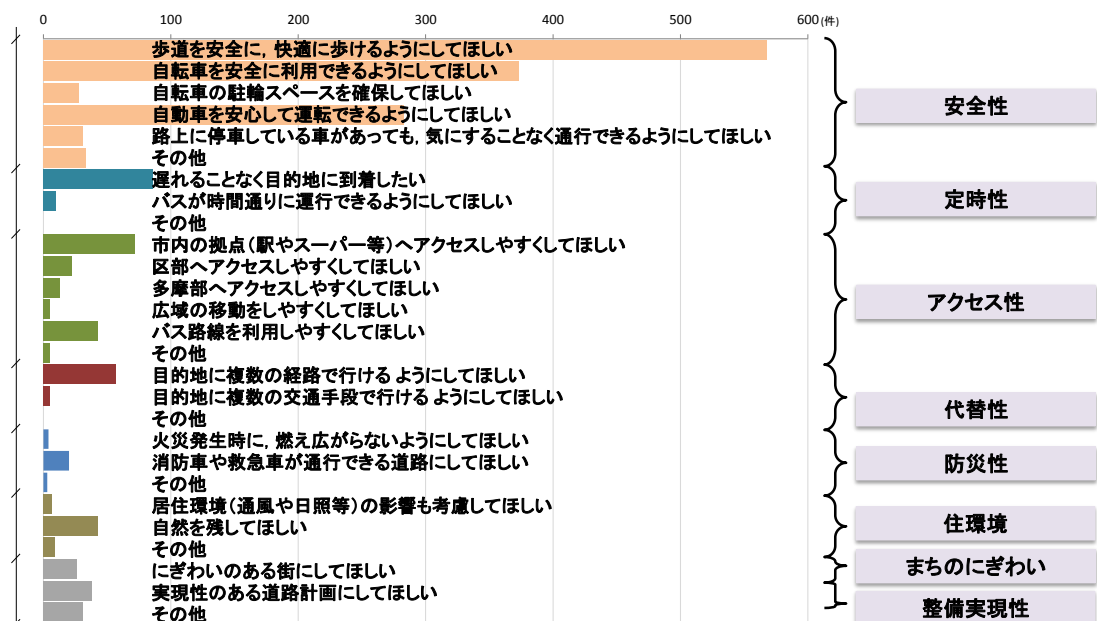


図 普段利用する道路で困っていること(みちの井戸端会議及び道路に関するアンケート結果)